

エコニュース さって



第 33 号

平成 22 年 6 月 17 日
幸手市市民環境会議
(さって市民環境ネット)
TEL48-0331

第1回 みんなの力で なの花の油を！

菜の花プロジェクトに総勢 81 名の方が参加、菜種を 66 K g 採取

昨秋に県営幸手権現堂公園の最南端約 900 m²に種まきした菜の花（ナナシキブ）を平成 22 年 5 月 30 日（日）に幸手の環境活動グループの方や市広報紙や朝日新聞、ポスター等でボランティア募集を知った一般参加者、県いきがい大学の在校生や卒業生が集まり半日かけ収穫しました。

当初 1 週間前に実施予定していて、天候不順の為延期したにも関わらず、町田市長や春日部農林振興センターの加藤部長のご出席をいただき、菜の花の刈り取りや事前に刈り取っておいた菜の花を、幼児を含む子供や親達がブルーシートの上で踏み脱穀し、その後唐箕（とうみ）を使い種と殻の選別を行いました。作業に入る前には子供達に手作りの紙芝居を行い菜の花の活用の歴史や菜種油の生産、環境に優しい植物などを紹介した内容で子供達、大人にも好評で大いに興味を持ってくれました。

幸手小学校でも環境学習に

今回の取り組みは環境保全活動の一環として取り組んでおり、5 月 25 日（日）には幸手小学校の 5 年生 50 名を対象にした環境学習として同様に校内体育館を使用して菜の花物語の紙芝居、事前刈り取った菜の花の脱穀と唐箕による選別、菜の花の生育写真や刈り取り専用鋏、精製した菜種油などを展示し環境を意識した植物の理解を深めました。後日生徒から頂いた感謝のお手紙にもそのことが良く表現されていました。

この活動をみなさんの力で大きく育てよう！

6 月 5 日には一部関係者による乾燥させた菜の花の脱穀と唐箕を使い選別を行い 66 K g の菜種収穫をする事ができました。今回のプロジェクトは幸手市を始め関係機関や団体の協力を頂く中で一般市民及びさいたま市、越谷市、久喜市からの市民も参加し、より環境意識向上を図るのに役立つ取り組みとなりました。今後採種した菜種を油にし、活用する取り組みを行うと共に、本活動を継続・発展させ、より多くの市民の方の環境意識向上に役立つ取り組みとしていきたいと思ひます。

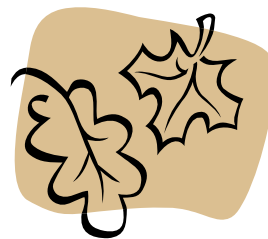
（八木）

幸手の環境活動グループ：幸手権現堂桜堤保存会、権現堂川地域環境保全協議会、幸手自然愛護会、幸手地産地消研究会、幸手ひがし幼稚園、エコ・グリーン幸手、くらしの会、上高野婦人会、倉松探検隊、幸手中央ロータリークラブ、すこやか「食」の会、幸ネット（子育て支援ネットワーク）、いきがい・はなみずきの会

落葉リサイクルで腐葉土づくり

第 54 回腐葉土づくりの会及び臨時腐葉土づくりの会

今年度最初の大量の熟成腐葉土の頒布を行いました。一方で、3 月初めに植付けたジャガイモが残念にも度重なる長雨で水が溜まり、土の乾く時間がなく、大半が芽が伸びず腐ってしまいました！



4 月 18 日（日）は久しぶりの晴れで、5 月の家庭菜園向けの熟成腐葉土の頒布ということで 19 人参集しました。

冒頭、事務局から 3 月から度重なる雨、雪とおまけに前 17 日は 43 年（？）ぶりの春雪で 3 月 6 日（土）と 21 日（日）に植え付けたジャガイモの大半は芽が出ないという残念な報告があった。今後の天候によっては若干の回復が期待できることもあるが、種ジャガイモの植えるタイミング（土が乾いている時植える）と植える位置（畝の上が良い）に留意する必要があると反省をしたとの報告もありました。

さらに、会長から 5 月 23 日（日）にアスカで開催されるフリーマーケットで熟成腐葉土を小袋 1 個 100 円で販売するとの報告がありました。また、事務局から、今後、会員への出欠等の確認に連絡網を使うとして電話連絡網が配布されました。一部 E-mail 連絡網を使うと補足されました。

その後、出席者の希望袋数をとって、野澤顧問の作業案内に従い全員が交代、手分けして袋詰作業を行いました。希望袋数が最大 8 個の人もあって約 60 個が頒布され、2 基目の約半分が消費されました。

最後に事務局から 5 月連休中に天気都合の適切な日に臨時の農園の草取りと熟成腐葉土撒きを行うことの案内、次回、5 月 16 日（日）はサツマイモ苗植えを行うことを約束し散会しました。

なお、6 人の有志が帰りに農園に立ち寄って雑草を刈りました。

4 月 29 日（木）（昭和の日）に事務局から 5 月 3 日（月）（憲法記念日）に農園の草取りと熟成腐葉土撒き行うので参集するよう連絡網を使って案内がありました。

5 月 3 日 9 時に連休真最中の突然の招集にもかかわらず 12 人が参集しました。

最初は、熟成腐葉土袋詰と農園の草取りを分担して作業を行い、20 袋の熟成腐葉土を農園に運びました。全員で草取りを行った後、僅かに腐らず残って芽が出ているジャガイモの芽欠き、化成肥料追肥、土寄せを行いました。また、折りたたみ式耕うん機を借りて雑草刈りに試運転し、雑草が繁茂しなければ使えることと簡単な耕うんができることが確認できました。

最後の熟成腐葉土を撒き、次回、5 月 16 日（日）のサツマイモ苗を植えることを約束し散会しました（澤村）。

浮島つくり・短信

「浮きウキフェスタ 22」の検討はじまる

5 月 26 日に新しいメンバーも加わって、今年の事業についての会議が県・杉戸県土事務所主催で開催されました。開催日として、10 月 24 日（日）が提案されました。

“田んぼの妖精に会いました！”

ホウネンエビ観察会

5月29日（土）

毎年、5月の大型連休の頃になると、“ホウネンエビ発生”のニュースが伝えられてきます。今年も5月上旬、行幸地区の水田で“ホウネンエビ発生”の知らせがありました。

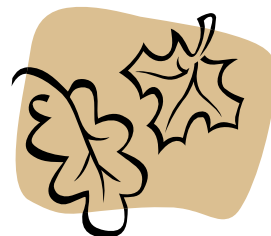
初夏の日差しが日に日に強くなり、水田の水温が18℃～19℃位になると、水中のプランクトンやミジンコ類の動きが活発になります。それらの増殖とともに、ホウネンエビの姿もたくさん見られるようになります。5月中旬から5月下旬になると、オス・メスの特徴も目立ち、メスの腹部には卵が見られるようになります。愛らしい姿や、逆さになって泳ぐ姿などから『田んぼの妖精』『田んぼの天使』などと呼ばれています。

さって市民環境ネットでは、この愛らしい水田の妖精を観察しています。生息が確認できた水田は幸手市内にいくつかありますが、毎年多数の出現を繰り返しているのは行幸地区の水田です。

平成22年度は、市の広報や新聞の情報欄を通じて参加募集を行いました。今回の観察会には7名の参加がありました。また幸手市の環境や自然に関心を持ち、ビデオの撮影や編集の仕事をしている大山さんにも参加をいただきました。大山さんにはホウネンエビの映像記録をお願いしました。採取ネットでホウネンエビをすくったり、容器に入れて覗いてみたり、逆さになって泳ぐ姿に感激したり。……まさに田んぼの妖精たちと“未知の遭遇”になりました。

水田のみに生息し、季節の変化に適応し、日本の伝統的な農法と深く関わって生きるホウネンエビは『水田生態系のマスコット』であると感じます。参加者からは、「自分の住む家の近くに、こんなに神秘的な生き物がいるなんて、初めて知りました。」という感想がたくさんありました。多くの方に喜んでいただけたこと、ふる里の珍しい生き物に親しんでいただけたことが主催者にとって一番の喜びです。

最後に、観察会のために水田を提供してくださいました菅谷様に心より感謝申し上げます。
(石井)



第56回腐葉土づくりの会

5月16日（日）晴天の下、会員18人が参加して、今年もみんなでさつまいもを植えました。

今年はタイミング良く耕運機で畑を耕していただいたので、畝作りが楽に作業出来ました。澤村さんからの依頼通り畝の間隔を1mと高さ30cm程とし、畝数を9本作り、その中の7本に300本の苗を野澤さん、松本さんよりみんなが植え方を教わりながら、丁寧

に一本一本植えて行きました。早い時間に終わってしまい、みんなで力を合わせてやれば、作業もてきぱきといくものなんだなーと感心させられました。

残り2本の畝には後日苗を買って植えることとし、残りの時間を利用して、じゃがいもの土寄せと雑草取りをしました。

又是非子供たちの参加を会員一同待ってまーす。

(原田)

次回、6月27日(日)開催になりました。

エコライフDAY2010夏のキャンペーン 5月20日 市長の宣言式！

今年も幸手市は夏のキャンペーンに参加します。

5月20日市庁舎において、町田市長、菅谷教育次長、環境課職員と当会員10名が「エコライフDAY」の実施団結を期し宣言式を行いました。

市長を囲んでの宣言式は今年2年目で、昨年の参加者7,100人を上回る効果を期待し皆で頑張ることにしました。学校へのチェックシートの配布は、例年通りの小、中学校及び高校に加え、今年新設なった日本保健医療大学へも参加を要請することになりました。また、公民館等に今年のパンフレットを掲示し、地球温暖化防止への一般家庭の関心を高めることに努めていきます。

(中山)

・実施日 平成22年7月11日(日)

ただし、小・中学校は、7月4日(日)に繰り上げます。

詳しくは、広報さって7月号または公民館などの展示をご覧ください。

活動短信

お米の研究会

5月3日に、藤城さんの田んぼの田植えを見学しました。「見るだけではなく体験を」と、師匠の藤城さんの提案で、我が家の田んぼを始めました。ポリスチロールのトロ箱を利用してミニ田んぼを作ろうという、この無謀な計画はさらに取れたお米の使い方まで、大きな夢にふくらんでいます。今のところ、順調に？育っています。

フリーマーケットに出店

5月23日(日)に開催された、アットホーム・ニュース社主催のフリーマーケットに、さって市民環境ネットとして、初めて出店しました。腐葉土の販売も行いました。

市民環境会議・さって市民環境ネットは、「環境基本計画」に市民の皆さんの声を織り込むために作業してきました。そして今、環境ナビ(幸手市HP)、エコライフDAY、中川探検、腐葉土づくり、浮島づくり、グリーンコンシューマー運動などの活動に取り組んでいます。あなたも参加しませんか。いつからでも誰でも参加できます。

問合せは、本田(42-8412)まで。